

株式メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店

●株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料)	0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部)
インターネットホームページ	http://www.tr.mufg.jp/daikou/

公告掲載	電子公告 (http://www.cybird.co.jp/hc/ir/announcement/index.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載して行います。
------	---

株式会社サイバードホールディングス

〒106-6161 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー22F
TEL.03-5785-6110(経営戦略本部IR室) FAX.03-5785-9321
<http://www.cybird.co.jp/>

公開買付けに関するお手続きについて

公開買付けへの応募は、日興シティグループ証券株式会社又は日興コーディアル証券株式会社のいずれにおいても行うことができます。個人株主の皆様におかれましては、応募に際し、最寄りの日興コーディアル証券株式会社の本店又は営業部にご用命くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

お電話でのお申込み・お問合せ 日興コーディアル証券株式会社

公開買付け専用フリーダイヤル	0120-250-959 受付日時 平成19年11月1日(木)～平成19年12月13日(木) 平日9:00～17:00(但し、土・日・祝を除く)
----------------	---

C BIRD HOLDINGS

第10期 中間決算のご報告

2007.04.01-2007.09.30

Message from the President

ご挨拶

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

「第10期中間決算のご報告」をお届けするにあたり、日ごろのご支援に対し、心より御礼申し上げます。

おかげさまでサイバードグループは、株式会社サイバードと株式会社JIMOSが経営統合し、株式会社サイバードホールディングスを持株会社とする持株会社体制をスタートしてから1周年を迎えることができました。

経営統合以来、株式会社サイバードの強みである「モバイルコミュニケーション」と、株式会社JIMOSの強みである「ヒューマンコミュニケーション」を融合させ、あらゆるお客様に最大限の満足を提供できる「one to only oneプラットフォームの創造」を目指し、モバイル・コンテンツ事業、コマース事業、ソリューション事業などに取り組んでまいりました。

第10期をスタートした本年4月からは、本業のさらなる成長とサイバードプラットフォームの強化による「事業基盤の整備」、安定したグループ経営のための「経営基盤の強化」、企業の持続的成長を支える「組織風土の醸成」を経営方針の柱に据え、株式会社サイバードと株式会社JIMOSをはじめとす

る、それぞれの事業会社のコアコンピタンスを發揮しながら、一層の相乗効果を生み出せるグループ体制の構築を推進しております。

その様な中、当中間期における連結売上高は、モバイル・コンテンツ事業での効果的なプロモーション戦略による主力コンテンツの伸長や、株式会社JIMOSの化粧品通販事業を主とするコマース事業の収益貢献に加え、広告事業における収益の立ち上がりも進んだことから、15,264百万円と対前年同期比6,813百万円増(80.6%増)の大幅な増加となり、中間期ベースで過去最高を更新いたしました。

営業利益につきましては、モバイル・コンテンツ事業の売上高増加と売上総利益率の改善、及びコマース事業の新規連結による売上総利益の増加要因等に加え、広告投資効率の改善や、のれん定額償却の減少要因等もあり、558百万円と対前年同期比213百万円増(61.8%増)となりました。また、経常利益は445百万円、中間純利益は239百万円となりました。

次頁以降にて、第10期中間期の業績の詳細を記載しておりますので、ご高覧賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

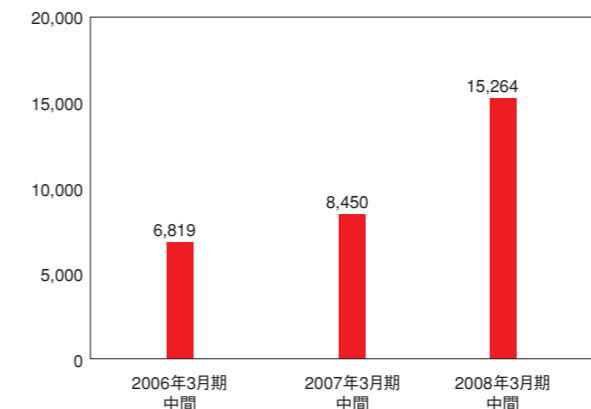
株式会社サイバードホールディングス
代表取締役社長兼グループCEO
堀 主知口バート

Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト

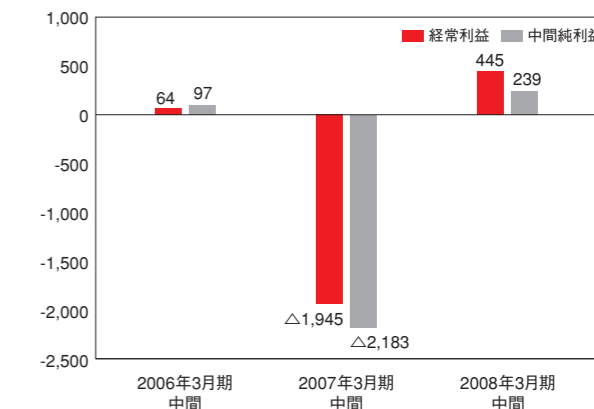
売上高

(単位:百万円)

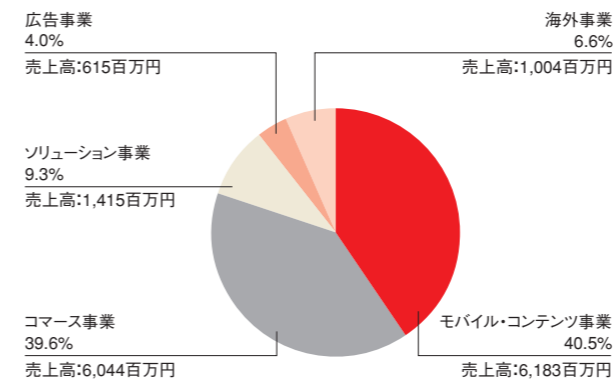


経常利益/中間純利益

(単位:百万円)



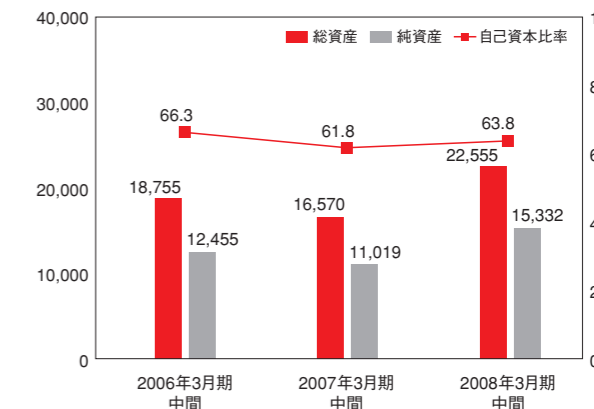
事業別売上高と売上高構成比



総資産/純資産/自己資本比率

(単位:百万円)

(単位:%)



(注)自己資本=純資産-新株予約権-少数株主持分

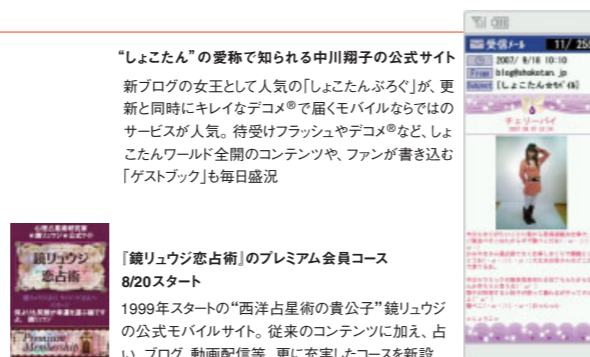
Business Overview

営業の概況

連結グループの事業別概況

■ モバイル・コンテンツ事業

モバイル・コンテンツ事業は、引続き効果的なプロモーション戦略により、『江原啓之スピリチュアルメッセージ』等の主力コンテンツを中心に堅調に推移し、売上高は6,183百万円と前年同期比444百万円増(7.7%増)となり、中間期過去最高を更新いたしました。新規コンテンツの投入に加え、既存コンテンツでは、『鏡リュウジ恋占術』におけるプレミアム会員コースの提供等、サービスの追加による新たな課金設定を行うことにより、今後のユーザー一人当たり売上高の向上策も実施いたしました。



"しょこたん"の愛称で知られる中川翔子の公式サイト新ブログの女王として人気の「しょこたんぶろぐ」が、更新と同時にキレイなデコメ®で届くモバイルならではのサービスが人気。待受けフラッシュやデコメ®など、しょこたんワールド全開のコンテンツや、ファンが書き込む「ゲストブック」も毎日盛況

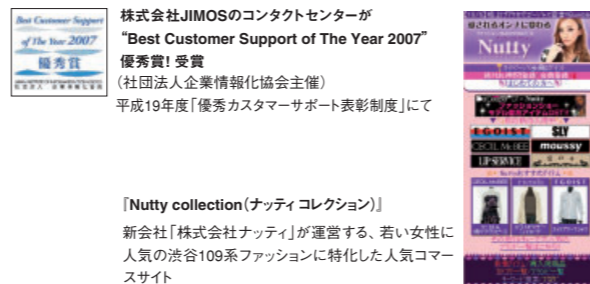
「鏡リュウジ恋占術」のプレミアム会員コース
8/20スタート
1999年スタートの“西洋占星術の貴公子”鏡リュウジの公式モバイルサイト。従来のコンテンツに加え、占い、ブログ、動画配信等、更に充実したコースを新設

■ コマース事業

コマース事業は、前年下期より連結を開始した株式会社JIMOSの化粧品通販事業や、同社子会社によるアウトレット商品販売の収益を主として、売上高は6,044百万円と前年同期比5,889百万円増(3,813.2%増)となり、大幅に伸長いたしました。特に化粧品通販事業につきましては、株式会社JIMOSのコンタクトセンターが、当中間期に社団法人企業情報化協会主催の平成19年度「優秀カスタマーサポート表彰制度」における通信販売企業では初めてとなる“Best Customer Support of The Year 2007”優秀賞を受賞いたしました。

また、モバイルコマースにおいては、当中間期にスタイライフ株式会社や当社子会社である株式会社サイバードの他、ベンチャーキャピタル等からの出資によりファッションコマースの新会

社「株式会社ナッティ」を設立いたしました。当社グループは、今後、同社に対する集客・プロモーション支援の提供により当該事業売上の一定割合を獲得しつつ、同社顧客を当社グループのモバイルプラットフォームへ誘導し、収益化を図ってまいります。



株式会社JIMOSのコンタクトセンターが
“Best Customer Support of The Year 2007”
優秀賞! 受賞
(社団法人企業情報化協会主催)
平成19年度「優秀カスタマーサポート表彰制度」にて

「Nutty collection(ナッティコレクション)」
新会社「株式会社ナッティ」が運営する、若い女性に人気の渋谷109系ファッションに特化した人気コマースサイト

■ ソリューション事業

ソリューション事業は、モバイルサイトの安定的な開発・運用収益に加え、株式会社JIMOSにおけるクライアント企業向け通販支援事業や、ECサイト開発を主とする同社子会社の新

■ 広告事業

広告事業は、ナショナルクライアント等からの出稿によるモバイル広告販売の拡大に加え、クライアント企業向け通販広告代理業のさらなる寄与もあり、売上高は、615百万円と前年同期比546百万円増(783.5%増)となりました。今後は、広告事業の推進に当たり、

たな収益連結等により、売上高は1,415百万円と前年同期比185百万円増(15.1%増)となりました。

当社グループが各事業を通じて獲得した会員の定着化を図ることで構築してきたプラットフォームの強化と、新しく生み出されるメディアにおける各種広告の露出機会を会員に提供することにより、当該事業を既存事業に続く収益獲得の柱として育成していく予定です。



株式会社GABAが運営する「Gabaマンツーマン英会話」の“動く”広告 サイバードの自社メディアの一部ではFlash技術を駆使した動きのある新たなモバイル広告を展開。

■ 投資事業

当中間期における投資事業の売上高計上はありませんでしたが、子会社の株式会社サイバード・インベストメント・パートナーズの運

営・管理による「サイバード・プラスモバイル・ファンド」を通じ、新たに3社への出資を行った結果、現在、8社に対して投資を行っております。

■ 海外事業

北米コンテンツプロバイダーである連結子会社Airborne Entertainment Inc.の収益により、海外事業の売上高は、1,004百万円となりました。現地における端末の高機能化が進み、3G系の動画コンテンツやゲームコンテンツ等の急速な

成長を背景に、同子会社も市場ニーズへの対応に向けた3G系動画コンテンツの開発やモバイルによるBtoB事業等の高付加価値サービスの提供に注力しております。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円・単位未満切捨)

区分	前期末 (2007年3月31日現在)	当中間期末 (2007年9月30日現在)
《資産の部》		
I 流動資産	11,945	12,127
現金及び預金	4,614	4,199
受取手形及び売掛金	5,141	4,652
有価証券	764	1,627
たな卸資産	921	935
その他	503	711
II 固定資産	10,633	10,427
有形固定資産	470	440
無形固定資産	7,152	7,329
ソフトウェア	887	1,026
のれん	6,144	6,199
その他	120	104
投資その他の資産	3,009	2,656
投資有価証券	1,410	1,210
その他	1,599	1,446
資産合計	22,578	22,555

区分	前期末 (2007年3月31日現在)	当中間期末 (2007年9月30日現在)
《負債の部》		
I 流動負債	7,252	6,598
買掛金	2,409	1,863
短期借入金	2,773	2,619
一年内償還予定社債	—	390
未払金	1,284	804
その他	783	919
II 固定負債	510	624
社債及び長期借入金	440	604
その他	69	19
負債合計	7,762	7,222
《純資産の部》		
I 株主資本	13,776	13,967
資本金	5,503	5,503
資本剰余金	14,469	9,019
利益剰余金	△6,195	△555
II 評価・換算差額等	154	415
III 新株予約権	15	65
IV 少数株主持分	869	883
純資産合計	14,815	15,332
負債及び純資産合計	22,578	22,555

● 中間連結株主資本等変動計算書(要旨) (自2007年4月1日 至2007年9月30日)

(単位:百万円・単位未満切捨)

	株主資本				評価・ 換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計				
2007年3月31日残高	5,503	14,469	△6,195	13,776	154	15	869	14,815
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当	—	△48	—	△48	—	—	—	△48
資本剰余金から利益準備金へ振替	—	△5,401	5,401	—	—	—	—	—
中間純利益	—	—	239	239	—	—	—	239
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	261	50	13	325
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△5,449	5,640	190	261	50	13	516
2007年9月30日残高	5,503	9,019	△555	13,967	415	65	883	15,332

● 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円・単位未満切捨)

区分	前中間期 (自2006年4月1日 至2006年9月30日)	当中間期 (自2007年4月1日 至2007年9月30日)
売上高	8,450	15,264
売上原価	4,884	8,598
売上総利益	3,566	6,665
販売費及び一般管理費	3,221	6,107
営業利益	345	558
営業外収益	0	50
営業外費用	2,290	163
経常利益又は損失(△)	△1,945	445
特別利益	0	68
特別損失	58	95
税金等調整前中間純利益又は純損失(△)	△2,003	417
法人税、住民税及び事業税等	58	213
法人税等調整額	98	△55
少数株主利益	23	20
中間純利益又は純損失(△)	△2,183	239

● 事業別セグメント売上高

(単位:百万円・単位未満切捨)

区分	前中間期 (自2006年4月1日 至2006年9月30日)	当中間期 (自2007年4月1日 至2007年9月30日)
モバイル・コンテンツ事業	5,739	6,183
コマース事業	154	6,044
ソリューション事業	1,229	1,415
広告事業	69	615
投資事業	143	—
海外事業	1,113	1,004
合計	8,450	15,264

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円・単位未満切捨)

区分	前中間期 (自2006年4月1日 至2006年9月30日)	当中間期 (自2007年4月1日 至2007年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	274	165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,589	△666
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,431	381
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	23
現金及び現金同等物の増加額・減少額(△)	113	△95
現金及び現金同等物の期首残高	1,697	5,164
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,811	5,068

営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前中間純利益417百万円に加え、非資金費用490百万円を計上の一方、未払金や法人税の支払い等により、営業活動によるキャッシュ・フローは165百万円の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー
グループでのソフトウェア取得による支出、及び海外子会社における余剰資金の短期投資(現地大手銀行保証付)による有価証券の取得等を主とし、投資活動によるキャッシュ・フローは666百万円の減少

財務活動によるキャッシュ・フロー
海外子会社の社債発行による収入を主として、財務活動によるキャッシュ・フローは381百万円の増加

この結果、当中間期末の現金及び現金同等物は5,068百万円となりました。

MBO (マネジメント・バイアウト) について

当社代表取締役社長兼グループCEOである堀主知ロバートを筆頭とした経営陣は、独立系投資会社ロングリーチグループとともに、当社を非公開化させるための一連の取引の一環として、株式会社CJホールディングスを通じて当社の全株式を取得する公開買付けを2007年11月1日から12月13日の期間で開始いたしました。

株主の皆様におかれましては、この一連の取引についてご理解いただき、是非今回の公開買付けにご賛同賜りたく、その概要についてご案内いたします。

サイバードグループの目指す方向



取り組むべき経営課題

今後の経営戦略遂行にあたり、外部環境をみてみますと、モバイル・インターネット市場の多様化と拡大は一層進展しており、今こそ、全体の事業戦略の遂行を加速させていく時期であると、強く認識するに至りました。

中期的な企業価値向上のために…

- メディア価値の高いプラットフォームの構築を推進
- 新製品の投入によるプロダクトポートフォリオの強化
- 会員基盤拡充のための積極的な広告宣伝の展開

アクション実行のため、体制の整備と短期的業績に左右されない一定程度の先行投資が必要

マネジメント・バイアウト選択の理由

短期的に…

- 業績の成長鈍化が生じる懸念があり、株主様の期待に沿えない可能性があり、株価の不安定化によるリスクを株主様に負っていただくことを回避
- 市場環境の変化により生じる事業機会に対応するため、経営の意思決定ラインを特定株主に一本化し、経営資源の選択と集中について迅速な意思決定を行うことが必須

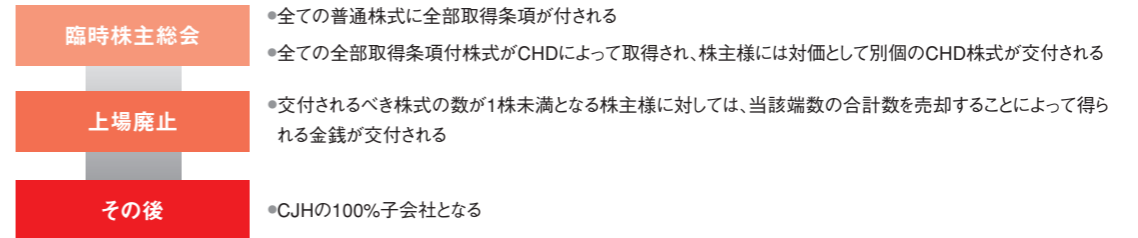
中長期的な支援に必要な実績及び経験を有するロングリーチグループをパートナーとしてマネジメントバイアウト (MBO) の手法による非公開化を行い、その株主のもと、事業推進を行うことが最善であると判断

マネジメント・バイアウトのスキーム



LR:ロングリーチグループ CJH:CJホールディングス CHD:サイバードホールディングス

公開買付け後の手順— 公開買付けが成立した場合



公開買付けに賛同した理由

① 株主様の適切な判断機会の確保

- 公開買付け届出書において、公開買付けの背景、理由、価格の算定の経緯を説明するなど、株主の皆様への適切な判断の機会を確保
- マネジメントがロングリーチグループとの間で締結した契約の概要の開示
- スクイズアウトに際して、株式買取請求権・価格決定請求権を確保するスキームを採用

② 意思決定過程における恣意性の排除

- 当社及び公開買付け者から独立したメンバーから構成される第三者委員会を設定し、マネジメント・バイアウトの是非及び条件について諮問
- 第三者委員会は、複数回、本件取引の妥当性、買付け価格を含む条件を検討するとともに、公開買付け者との間で交渉

③ 価格の適正性を担保する客観的状況の確保

- 公開買付け期間を30営業日に設定
- 公開買付け期間中、当社買収防衛策が停止され、公開買付け成立時には完全に廃止される

公開買付けへのご応募に関するお手続きにつきましては、本書裏表紙をご参照ください。

Stock Information

株式の状況(2007年9月30日現在)

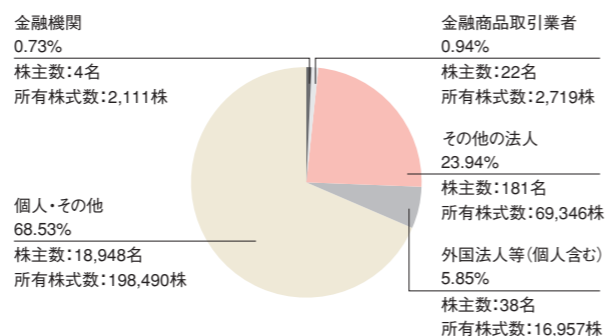
●株式の状況

発行可能株式総数.....824,988株

発行済株式の総数.....289,623株

株主数.....19,193名

●株主分布状況



●大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
小村 富士夫	32,303	11.15
堀 主知口バート	26,854	9.27
株式会社リクルート	25,300	8.73
オムロン株式会社	10,800	3.72
バイエリッシュ フェラインス バンク アーゲー カスタマーアカウント	10,000	3.45
岩井 陽介	8,616	2.97
株式会社らうむず	8,043	2.77
日本テレビ放送網株式会社	7,500	2.58
株式会社イマジカ・ロボットホールディングス	7,050	2.43
立石 知雄	3,704	1.27

Company Profile

会社概要(2007年9月30日現在)

●会社概要

商号 株式会社サイバードホールディングス

設立年月日 1998年9月29日

資本金 5,503百万円

従業員数 連結:801名/単体:66名

事業内容 サイバードグループ全体の戦略策定ならびに経営管理機能、サイバードグループ各社へのシェアードサービス提供機能、統合型顧客データベースの管理・運用機能、監査機能

取引銀行 株式会社あおぞら銀行/株式会社みずほ銀行

株式会社三井住友銀行/株式会社三菱東京UFJ銀行

(50音順)

役員 代表取締役社長 兼 グループCEO … 堀 主知口バート

取締役 兼 上席執行役員 … 中 島 謙一郎

取締役 兼 上席執行役員 … 細 田 洋 平

取締役 … 岩 井 陽 介

社外取締役 … 澤 田 宏 之

社外取締役 … 北 島 光 弘

常勤監査役 … 青 木 敏 彦

監査役 … 竹 山 正 久

監査役 … 佐 藤 武 志

主な株主 朝日放送株式会社/株式会社イマジカ・ロボットホールディングス

オムロン株式会社/オリックス株式会社/株式会社センリン

株式会社電通/名古屋テレビ放送株式会社

日本テレビ放送網株式会社/讀賣テレビ放送株式会社

株式会社リクルート

(50音順)

●連結子会社(15社)

会社名	所在地	設立	事業内容	資本金	出資比率
株式会社サイバード	東京都港区	2006年10月	モバイル・コンテンツ事業 ソリューション事業 広告事業	350百万円	100.0%
株式会社JIMOS	福岡県福岡市	1998年 9月	コマース事業 ソリューション事業	350百万円	100.0%
株式会社エスクルー	東京都港区	1999年10月	モバイル・コンテンツ事業 コマース事業	35百万円	53.6%
株式会社サイバード・インベストメント・パートナーズ	東京都港区	2005年12月	投資事業	220百万円	100.0%
CYB INVESTMENT INC.	米国デラウェア州	2005年 6月	海外事業	4,581USD	100.0%

株式会社プラスモバイルコミュニケーションズ/株式会社サイバードモバイルキャスト/ギガフロップス株式会社/株式会社ドクターズバイオ研究所/株式会社アウトレットプラザ
株式会社コマースニジュウイチ/JDM投資事業組合/サイバード・プラスモバイル・ファンド投資事業有限責任組合/Airborne Entertainment Inc./Cellus U.S.A., INC.